



大切なのは、
実現すること。

原油・物価高騰への緊急対策

～ 緊急対策4本の柱で国民の生活を守る ～

今年初めには想定していなかったロシアのウクライナ侵攻があり、経済、金融と不透明感が強まっています。

ただでさえ、昨年からの半導体不足、ウッドショック（木材の不足と値上がり）と不安視されてきたことに加えて、です。特に、原油価格が高騰していることは、今後益々、私たちの生活に大きな影響を与えることになると思われます。

■ スピード重視の緊急対策

先月末に、岸田政権はコロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』を発表しました。緊急対策ですので、予備費を活用して施策のスピードを重視しています。

補正予算も成立させる方針で、今回活用して心もとなくなった予備費の積み増しを行う内容となっています。

自民党の総務会では反対はしませんでした。私は「今回は緊急対応で、スピード重視ということなので了とするが、この中身では秋の補正も必要になると個人的には考える。その時に向け、単に値上がり分を国費で充当するだけという中身ではなく、今からしっかり中長期にわたる構造変革につながる骨太の対策の検討をお願いしたい」との旨、発言し、注文をつけさせていただきました。

■ 緊急対策4つの柱

今回の対策ですが、大きく5つの柱に分かれます。ただ、5つめは今後の備えということなので実質4つということなのです。

I. 原油価格高騰対策

II. エネルギー・原材料・食料等安定供給対策

III. 新たな価格体系への適応の円滑化に向けた中小企業対策等

IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援

となります。

I. 原油価格高騰対策

今年度上半期（～9月）支援上限を25円から35円に拡充します。また基準価格も168円へと切り下げます。対象もガソリン、軽油、重油、灯油に加えて航空機燃料を追加しました。

つまり、実勢価格が169円～203円までは国費が補填されて168円で購入できることとなります。それ以上に値上がりした場合は半額が補填されることとなります。例えば207円だとすると203円から4円オーバーしますので、その半額の2円分は国から補填され、私たちは170円（168円+2円）で購入できることとなります。

また、漁業、農林業、運輸業、生活衛生関係営業等は個別の支援（R4. 3. 4の関係閣僚会合による）を継続していきます。

II. エネルギー・原材料・食料等安定供給対策

供給源への対応です。世界各国との連携や増産を依頼する、調達先を多様化して供給量の確保を目指す、そして使用量を減らす取組みを支援する、または、代替品を開発・量産するなどをそれぞれに合わせて行っていきます。



(表面より続く)

Ⅲ.新たな価格体系への適応の円滑化に向けた中小企業対策等

中小企業へ向けての対策です。引き続き賃上げの依頼は行っていきます。また、基準材料価格を改定することもやります。同時に、価格転嫁はきちんとできるようチェックしていきます。

そして、資金繰り支援です。金利引き下げの更なる深堀り、無利子無担保融資の期限延長、事業再構築補助金における「原油価格・物価高騰対応枠」の創設などを行っていきます。

Ⅳ.コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援

生活困窮者に対しての生活再建や就労面での伴走型支援を強化すると同時に、低所得の子育て世帯に対する児童一人当たり5万円の給付金、また孤立を防ぐための相談受付体制の拡充やこの分野の活動をしているNPO等へ

の支援を行っていきます。

また、地方公共団体には、コロナの地方創生臨時交付金を配布します。地方自治体の判断で現状に必要な幅広い対応が可能な交付金です。とにかく目の前の事象への対応として予備費を使って対応します。

今後は「新しい資本主義」のグランドデザインと実行計画をとりまとめるほか、今年も『2022骨太の方針』を取りまとめる予定となっていますので、ここで総合的な方針を打ち出すという説明になっています。このような原油価格高騰に、今よりも影響を受けないよう経済社会の構造を変えていくことが必要であり、そのための政策や方針に知恵を出してもらわなければなりません。

今年の夏にある参院選を通じて、これらの議論が与野党間で活発に行われることを期待しています。

さかい学の活動報告

『自民党花博推進特命委員会』委員長に就任

2027年横浜市瀬谷区で開催される「横浜国際園芸博覧会」に向け、特命委員会が発足しました(高市早苗政調会長、菅義偉顧問と)。



『憲法フォーラムinかながわ5区』開催

「自民党憲法改正実現本部」の木原稔衆議院議員を講師に招き、松田よしあき県議会議員とともに、なぜ憲法改正が必要かについて勉強会を開催。



駐日ウクライナ大使と面談

自民党よこはま市連の行った募金の送金報告と今後の支援について、コルスンスキー大使と話しました。



「横浜市立義務教育学校 緑園学園」開校

「緑園に中学校を！」と一緒に活動してきた地域の方々と、開校式に参加しました。

